

科目番号		54008	分類	専門科目 応用公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース		学年	
科目名	住まいづくり論 (Environment for Health Promotion)							1	
								配当シスター	
								前期	
担当者	○永井 智子			区分	必修	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
【概 要】 WHO や健康日本 21（第三次）において着目されている環境に焦点を当てた健康増進・疾病予防をするための視点や方策を学ぶ。個々人の住環境などのミクロ的視点や都市工学や環境工学などのマクロ的観点から住みやすい町づくりおよび防災に強い町づくりについて理解を深める。 【目 標】 ・社会環境が人々の健康や生活に与える影響について説明できる。 ・スマートシティを通して持続可能な都市や地域のあり方について説明できる。 ・住環境が個々人の健康や生活に与える影響について説明できる。							○	1.多様な課題に対応する高度な実践力	
								2.地域住民の自立を養う統合的支援能力	
								3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力	
								4.政策や保健事業を開発する能力	
								5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力	
								6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力	
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
第1回	社会環境が健康や生活に与える影響① ICF（国際生活機能分類）に基づき、環境が健康や生活に与える影響について検討・考察する。							永井	
第2回	社会環境が健康や生活に与える影響② 限界集落、買い物弱者等の時事的テーマについて検討・考察する。								
第3回	社会環境が健康や生活に与える影響③ SDGs（目標 11）を基盤に災害に強いまちづくりについて検討・考察する。								
第4回	社会環境とまちづくり① 社会的孤立と居場所について検討・考察する。								
第5回	社会環境とまちづくり② 格差社会と健康について検討・考察する。								
第6回	社会環境とまちづくり③ 住民とのパートナーシップについて検討・考察する。								
第7回	社会環境とまちづくり④ 多職種連携・協働について考察する。								
第8回	社会環境が健康や生活に与える影響④ 課題発表を通して、住環境が健康や生活に与える影響を検討・考察する。								
事前・事後学習	事前学習：ICF、スマートシティ、SDGs などの用語や内容について学習する。 事後学習：配布資料を復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にすること。								
評価の方法	授業課題 40%、発表内容 30%、グループ討議等の参加度 30%を基準とし総合的に評価する。								
参考図書・資料等	参考図書等は適宜紹介する。								
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								